

あだたら

二月十二日 (日)

二月山行、女神山

報告

□□□□

第412号
発行所 町会
山口市善久田の部
あだたら山の部
編集

●編集部連絡先
二本松市郭内1-515
0243(22) 4246
Fax可 渡辺 正



10時33分、女神山山頂

女神山(五九九・四び)は川俣町と伊達市霊山町の境にあり、一等三角点の置かれていた山です。何と言

山には柱状節理、奇岩怪石や大蛇伝説、有名な小千姫伝説もあり、年に一度のお祭も行われ歴史の深い山です。山を語り知る人も近年高齢化しており麓の長老の元を訪ねて昔話を聞いておられます。上小国、月舘町、御幸山、糠田、川俣秋山と村人達は活発に往来していた様子でした。女神山の一角奥にある鷹ノ巣山・賽名倉山も確認して来ました。地形図にも産印があり霊山の様に断崖絶壁の山でした。一貫森山又は堀沢山よりの縦走コースより入りま

余談は後にして、女神山三本ある登山口の堀切口に集合し少し早めに九時前に軽くスクワッド準備運動して登山届けポストに入れて出発。十分程で四人椅子三基のある、ヤマケイにも載っている「休んで見っせ」に到着。大雪の残雪の中でも衣類の調整、パイプ望遠鏡を覗きました。すぐに七ツ森林道「霊山インター」すぐ西側より川俣秋山の駒桜の県道までに出て、これより上に急坂、登山らしくなってくる。月舘町境の杉林を登りきると月宮分岐、すぐ棚平分岐あり、一番の急登になり、残雪の中、山の会員強者達は一気に登り上げました。展望も開け安達太良山が右側に。振り返る足元に注意しながら女神山の肩にある展望所で一休みし、カエル岩見ながらこの辺は遅くまでリンドウが咲き山ユリ、スミレの花などありますが、猪に荒らされ希少となり大事に見守っています。奇岩を左右にカタクリ平の周回路に着く。昨年は四月五日に七輪程咲き始めて月末二十五日にはほぼ終わってました。この頃になると山頂の黄スイセンや白い花を木いっぱいにさいていた、香り大好きなコブシの花も見事に咲き登山者を楽しませております。

全員山頂に十一時着、天気よく遠くまで見渡せ山座同定をしてみました。この山は東北の中央にあり、近くには雨乞山、堀沢山、御幸山の七ツ森山。南東側に羽山、小神麓山三等三角点、布引山、太郎坊山、花塚山へと、遠くには安達太良山、吾妻山、萬歳楽山、奥に蔵王熊野岳、青麻山、船形山と名峰限りなく、南西に二岐山、会津大戸岳、栃木県境の三倉山、那須連峰まで、時間が過ぎます、一杯楽しんで欲しいです。

近くの山であるので又皆さん方には、いつでも電話一本で同行致します。時間作ってどうぞぞー。大蛇伝説山頂を後にして今回雨乞岩の特別コースは雪で中止しました。十分程で月宮コースへと入り杉林へ、水場も昨年払って清くしました。が、動物達の水場にも共同になっている様で水は持参が基本です。整備がされている登山道、よく見ると水神様からあり大杉の神様までシダの群生で山一面がグリーンのおアシスですが、今回は大雪で下になり次回を楽しみにしたいです。

歩き易い道を下り月宮口七ツ森林道に出て堀切林口まで一・四km、途中遮る物無しの大展望場新設に一息つける。重機が工事終わるとなくなり、自然が戻り最高になると思う。この林道は桜並木になっており、連休前には年中ウオーキングにも適しています。三十分程で堀切林口に着き、「休んで見っせ」で丁度十二時となり、昼食となり、ゆっくりに暖かい日和を十三時三十分下山。

追伸、女神山は他に岩手県西和賀町・三郷町、真昼岳の南にあり、九五六び、「男山」無し。男は真昼岳かも？。

秋田県田沢湖町の女神山八五三び、男神山八五九び。新潟県佐渡ヶ島畑野町、女神山・男神山。路があり、一度は訪ねて登りたいものです。

多分、もっとあることでしょう。



13時13分、下山後



林道沿い、新たな展望場所



休んで見っせ、で、昼食中

◆ 女神山頂から、鬼面山の「人面」雪型がよく見えました。□□□□さんは箕輪山の「箕の輪」雪型の説明してくれました。三頁に載せてあります。

二月十二日 (日)

二月山行・冬山・パトロール

報告・□□□□、□□□□



8時17分、奥岳出発

◆□□□□さん報告
 悪天候が予想されたが、奥岳に八時に集合することになった。山の会からは□□□□さん、□□□□さん、□□□□の三人。会員外からは□□□□さんご夫婦、大玉の□□□□さんが参加。岳温泉観光協会の□□□□さんは当日の朝、風邪のため欠席の連絡があり、不参加となる。風が強くなるのが予測されたので、薬師岳には向かわず、くるがね小屋を

目指して奥岳を八時二十分に出発。足元は各々違っていた。□□□□さんがスノーシュー、□□□□さんがツボ足、□□□□がアイゼン、□□□□さんご夫婦と□□□□さんがスキーで登山を開始する。雪の量は一月の山行の時と比べてもそれほど多いとは感じられなかった。雪も踏み固められていて歩きやすかったが、ときおり強い風が吹いていて、ちよっと心配になった。途中で□□□□さんが急

用で引き返すことになる。八の字の分岐まで来たら、案内板が完全に雪に下になっていた。そこから先は木の枝が目前にあるような感覚で雪の多さを感じた。さらに峰の辻の分岐までくると、案内板の杭の一部がわずかに雪面に出ていた。雪が降ってきて、風も吹いてきたので、ここで小屋まで行くかを再度確認し前進する。雪が多くなったこともあり踏み後も登山道から外れ、高い斜面にトレースが付けれられていた。地吹雪に視界を遮られながらも小屋手前の斜面を緊張しながら慎重に進む。くるがね小屋が見えてきて一安心。小屋の周りも積雪2m以上はあると思われた。十一時前に小屋に到着。雪を払って小屋に入って休憩。休憩中にも外は地吹雪で、たびたび視界が遮られる。早め下山することにし、十一時四十分位には小屋を出発する。地吹雪のため、来た時のトレースは消えてしまっていて、わずかな痕跡を確認しながら斜面を慎重に進む。途中で、小屋に泊まると言う十数人のグループとすれ違う。有名な女性ガイドが帯同しているとの事で、先日のテレビの影響かな?と思った。危険な斜面を通過したところで、スキー組はシール外して、先行していく。八の字分岐で再度合流し、そこからはスキ

用で引き返すことになる。八の字の分岐まで来たら、案内板が完全に雪に下になっていた。そこから先は木の枝が目前にあるような感覚で雪の多さを感じた。さらに峰の辻の分岐までくると、案内板の杭の一部がわずかに雪面に出ていた。雪が降ってきて、風も吹いてきたので、ここで小屋まで行くかを再度確認し前進する。雪が多くなったこともあり踏み後も登山道から外れ、高い斜面にトレースが付けれられていた。地吹雪に視界を遮られながらも小屋手前の斜面を緊張しながら慎重に進む。くるがね小屋が見えてきて一安心。小屋の周りも積雪2m以上はあると思われた。十一時前に小屋に到着。雪を払って小屋に入って休憩。休憩中にも外は地吹雪で、たびたび視界が遮られる。早め下山することにし、十一時四十分位には小屋を出発する。地吹雪のため、来た時のトレースは消えてしまっていて、わずかな痕跡を確認しながら斜面を慎重に進む。途中で、小屋に泊まると言う十数人のグループとすれ違う。有名な女性ガイドが帯同しているとの事で、先日のテレビの影響かな?と思った。危険な斜面を通過したところで、スキー組はシール外して、先行していく。八の字分岐で再度合流し、そこからはスキ



8時56分、近道を上る、先頭事務局写真に写るの珍しい□□□□さん撮影

◆□□□□さん報告
 勢至平過ぎ小屋が視界に入るとあたりから強風になり、厳冬期らしさが出てきた。くるがね小屋はお客さん結構入っていた、□□□□さんの知人もいた、お風呂や美味しいお酒のゆったりな方を傍に一時休憩で下山、□□□□がガイド一行とスライ

るだろうか?。スキー組□□□□夫婦□□□□は馬車道ショートカットのツリーランもどきにトライ! ガリの上の粉をなんとかクリア、杉林まで来ちゃったので左手に回り込み道に出て余韻の滑りに興じる、歩きの□□□□さん□□□□さんとほぼ同時の下山でした。



□□□□さんご夫婦、□□□□さん自撮

1組は林の中を滑って下山。我々も踏み固められた登山道を順調に下山し、奥岳に十三時二十分に到着した。パトロール詰所の前で参加者全員記念撮影、参加

された皆様お疲れ様でした。視界が悪い時は目印の赤布が頼りになり安心できると改めて感じた山行となりました。



13時18分、パトロール室前に無事下山



10時13分、勢至平通過中

個人山行・口太山

二月五日(日)

報告・□□□□



↑木幡山

↑口太山

2022年7月20日撮影、口太山を望む、霞ヶ城公園洗心亭から

正月は良い事づくめのスタート、今年も良い年になると思っていたら、正月明け、妻が脳梗塞で入院、幸い二週間で退院する事ができたが、息子が持病で一週間の点滴の入院、炊事・洗濯、調味料もどこにあるか判らず四苦八苦。少し落ち着いた二月五日、気晴らしに山行計画。朝、客で出発が遅れ、口太山に行く。県道原町二本松線を針道を過

ぎ、白滝不動尊前の路肩に車を止め十一時五十分入山する。夏無沼まで車道は雪道、所々日溜まりは土の出ている所もある。夏無沼十二時二十分、沼は全面水、スケートリンクみたいだ。日溜まりの土手で十五分の昼食。車道より山道に入り入山届を出そうと、カンの蓋を開けてみると帳面は濡れて書く事もできず、あきらめ山頂目指す。雪も多く

残り、山頂では十〜十五分位はある。一時三十分山頂。川俣から二〜三人位は来たみたい、足跡があるが休んだ所は見当たらない。カメラは忘れたので、眺望を楽しみ、家に今山頂にいる事を電話する。十五分位で下山、車道から足を延ばし南西の方の見晴らし台より、安達太良・安積山・二岐山・那須連峰の眺望を楽しみ、登山口へ三時下山する。帰り今年も又山の会にお世話になる為、事務長宅へ廻り山岳保険を頼み五時帰宅する。

箕輪山と鬼面山の雪型について

報告・□□□□

二月十二日に行った、女神山山頂から、箕輪山・鬼面山の雪型が綺麗に見えた。□□□□さんは「箕輪山」について話して下さった。農業道具の「箕」の「縁」の部分で「箕の輪」と言うんだそうです。鬼面山から箕輪に登る時、箕輪山の土湯側に大きく見える、噴火口の上半分、縁の土の層の部分が竹を編んだ網の形にも見えて、まさに「箕の輪」です。

鬼面山には、人の顔の輪郭が見えています。斜めではありますが、頭の上が冠の様で、仏様のようにも見えます。



鬼面山の人面



箕輪山の「箕の輪」



縁の所が「箕の輪」

箕輪山、鬼面山とも福島盆地から見えた山の形から名付けられたと思われる。



箕輪山の「箕の輪」雪型と 鬼面山の「人面」雪型、よく判りますよね？
本当は自分でこのくらいの写真撮りたい、フルツライン晴れてるとき何度も行ったか、撮れない、今回も やむを得ず借用、1990年4月15日発行 別冊・NHK趣味の園芸 日本・花の名所ガイド、より

訃報

元会員の方の訃報、相次ました。
◆一月十八日、
□□□□さん、七十五歳
◆二月十九日、
□□□□さん、八十六歳
ご冥福をお祈りします。

編集後記

四二二号

◆くろがね小屋HPから(抜粋)。
くろがね小屋は、建替え工事のため、三月三十一日で営業を終了します。最終宿泊は、三月三十日チェックインまでとなります。(事前予約必須)
最終日三月三十一日の休憩・トイレ利用の受付時間は、十五時までとさせていただきます。日帰り入浴については、十二時十五分が最終受付となります。工事完成は二〇二五年度中の子定。



NHKくろがね小屋、2月18日の再放送